

【実施区域・面積】

北海道、20.92ha

【生態系タイプ】

森林（天然生林、人工林）

【実施区域の状況】

自然の遷移に委ねられた天然林は、地域の野生動植物の生息生育環境が守られた生物多様性の高い森林で、吉岡川流域の水源涵養機能の一端を担っている。吉岡川中流域に位置する吉岡不動滝には、約300年前から安置される「大滝のお不動様（大滝不動明王）」が祀られ、社殿にて年2回の例大祭が執り行われている。吉岡エリアは当該歴史文化資源に隣接している。

【目標】

地域の森林生態系や水源涵養を担う森林資源を維持するとともに、吉岡不動滝や大滝不動明王社殿等の地域の歴史文化資源に隣接する自然資源を持続的に保全し、自然や文化の継承を促進させる。

【主な活動内容】

台風などの気象災害による森林環境の変化は、定期的な現地確認や巡視（年2回）、遠隔観察（観察カメラ3時間毎撮影）等により確認する。森林の自然災害（台風等）や病虫害（ナラ枯れ、シカ被害）については、現地確認の際に役場等関係各所へヒアリングを行い、必要に応じ現地調査や地域自治体と連携して対策を検討し実施する。

【モニタリング計画】

観察カメラの画像解析、動植物の現地調査（植物、哺乳類、鳥類、魚類、両生類（甲殻類含む）を対象に直接観察法、群落組成調査（植物）、センサーカメラ調査等）を実施。森林状況は、観察カメラや衛星画像、定期巡回の情報、ドローン等を活用し確認する。現地調査は5年に1回実施（5月・9月頃）。調査結果は生物相の変化を比較評価し、次期5年間の具体的な管理アクションへ反映させる。

【実施体制】

品川リフラの社員および株式会社森林環境リアライズ（専門家）が連携して実施する。現地調査の計画の立案・実施、種同定、分析等は森林環境リアライズの専門家が指導。森林状況の確認は現地確認及び地域自治体等（福島町役場産業課農林係、渡島総合振興局、大滝不動講）へヒアリング。連携して具体的措置を講じる。



吉岡不動滝
(参考：申請区域に隣接)



吉岡川流域



大滝不動明王社殿
(参考：申請区域に隣接)



地域の森林（ブナ・ミズナラ林）

調査の結果、
約300種程の
動植物が
確認されています

【計画期間】

2026年6月～2031年5月